



白生環第 355 号
平成29年7月13日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 殿

白石市長 山 田 裕 一



(仮称) アマテラス白石ソーラーファーム建設事業環境影響評価方法書
に係る意見について (回答)

平成29年6月23日付け環対第133号にて通知のあったこのことについて、下記のとおり提出します。

記

- 1 当該地は河川の上流部に位置しており、下流域では農業用水として利用されている。土砂流出による農作物への被害に留まらず、水生生物や魚類への影響も懸念されるとともに、過去に計画地内において土砂流出事故が発生していることを踏まえて、防止対策に万全を期する必要がある。よって、水質調査にあたっては、大雨による出水時の状況を把握するなど、流量の最大値想定に乖離が生じないように十分留意して実施すること。
- 2 廃棄物の処理にあたり、事業終了後の設備（パネル、架台、パワコン等）の撤去、処分方法について予測すること。

担当：白石市市民経済部生活環境課
環境対策係 渡邊
TEL 0224-22-1321
FAX 0224-22-1316

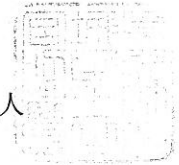




蔵環政第 101号
平成29年 7月 3日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 様

蔵王町長 村 上 英 人



「(仮称)アマテラス白石ソーラーファーム建設事業環境影響評価方法書」に関する意見について

平成29年6月23日付け、環対第133号で通知のありました、宮城県環境影響評価条例第10条第2項の規定による意見について下記のとおり回答します。

記

1. 本事業計画区域は、周辺が蔵王国定公園区域となっており、自然との触れ合いの場及び活動の場も存在するため、環境影響に関する情報を積極的に提供するとともに、周辺の地域住民等の理解を得ながら事業を進めること。
2. 本事業の施工にあたって、事業計画区域が本町との市町境界となり、本町側からの車両運行計画もあることから、資材等の運搬に用いる工事車両の運行による大気・騒音・振動の影響が懸念されるため、その影響を把握するよう適切に調査、予測及び評価を行い、事業を進めること。
3. 動物、植物及び生態系については、全般的な生物相を把握した上で、自然環境の保全と調和を考慮して評価を行い、事業を進めること。
4. 環境影響評価を行う過程において、項目及び選定等に係る事項に新たな事情が生じた場合は、必要に応じて選定した項目及び手法等見直すとともに、追加的に調査、予測及び評価を行うなど適切に対応すること。

蔵王町環境政策課 相原
電 話 : 0224-33-3007
ファックス : 0224-33-3284
E-mail : kankyou@town.zao.lg.jp

